

授業科目名	現代文B	単位数	3単位	学年	2
使用教科書	標準現代文B（第一学習社）	副教材等	常識の演習と整理プライム 常用国語（第一学習社） 級別漢字学習4～2級（とうほう）		

○学習の到達目標

近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を含め、進んで表現し、読書することによって、人生を豊かにする態度を育てる。

学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標
1 学期	4	1学期中間考査	耳を澄ませば世界は広がる	・現代社会において「聞く」とはどのような意味を持つかという考察をとおし、自分の世界を表現するための豊かさとは何かを考える。
	5		調律師のるみ子さん	
	6	1学期期末考査		・登場人物の気持ちや行動に生じた変化を理解することで、他人の心情を慮る能力を養う。
	7			
2 学期	9	2学期中間考査	デューク	・場面の移り変わりを整理し主人公の心情変化をとらえることで、コミュニケーション力の向上をはかる。 ・詩に描かれた背景や心情を読み取り、簡潔で美しい日本語に触れることで、表現力を高める。
	10		詩を味わう（詩三編）	
	11	2学期期末考査	相棒	・人物関係の心情変化を推察し正確にとらえることで物語に込められたメッセージを読み取る。
	12			
3 学期	1	学年末考査	ナイン	・より複雑な人間関係や心情変化を読み取り、作者の主張をとらえ、さらに自己の考えや意見をまとめる。
	2		僕らの時代のメディア・リテラシー	・現代社会のメディアというものについて考察し、筆者の主張をとらえ、さらに自己の生活体験と結びつけて思考する能力を養う。
	3			

○評価方法

- ①授業態度…教材の準備状況・出席状況・授業への取り組みの姿勢・ノート状況。
- ②提出物…課題等の提出状況
- ③定期考査…各学期に実施する考査の成績。また、課題テストの成績も含む。

○履修上の注意及びアドバイス

- ①授業者や発表者の説明などは最後まできちんと聴くこと。
- ②ノートは毎時間確実に指示通り取ること。
- ③プリント類はすべてノートに貼ること。（はさみとのはりは必需品）

授業科目名	古典 B		単位数	2 単位	学年	2
使用教科書	新編古典 B (大修館書店)		副教材等	読んで見て覚える重要古文単語 315 (桐原書店) 完全傍訳やさしく詳しい古典文法 (尚文出版)		
○学習の到達目標						
①古典で用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読む力を身につける。						
②様々な古典の文章に親しみ、思考力や表現力を伸ばし、ものの見方や感じ方を豊かにする。						
③言語文化に対する関心を深め、伝え合う力を高めるとともに国語を尊重して、その向上を図る態度を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	1 学期中間考査	今昔物語集	・ 1年の復習として文法や語彙の確認を行いながら、説話の世界を読み味わう。		
	5		丹波に出雲といふ所あり	・ 敬語の学習をおこない、人物関係を把握する力をつける。		
	6		漁夫の利	・ 中世の思想を学ぶ。		
	7	1 学期期末考査	朝三暮四	・ 小話をとおして漢文の基礎を復習し、教訓を読み取る力をつける。		
2 学期	9	2 学期中間考査	初冠	・ これまで学習した文法事項や古文単語を使い、口語訳する能力を身につけ、さらに内容を読み味わう。		
	10		漢詩	・ 漢詩の基本を学び、内容を読み取って、情景や作者の思いを考える。		
	11		門出	・ 有名な日記文学をとおして、当時の生活や人々の思いを読み取る。		
	12	2 学期期末考査				
3 学期	1	学年末考査	百人一首	・ 和歌の修辞など基本を学び、作者がこめた思いを読み取る力を養う。		
	2		四面楚歌	・ 句法や語彙を身につけ、人物関係や状況を読み取り歴史文学のおもしろさに触れる。		
	3		祇園精舎・木曾の最期	・ まとめとして文法、単語、文学史などを振り返る。 ・ 登場人物の心情を読み取り、古典を読み味わう。		
○評価方法						
①授業態度…教材の準備状況・出席状況・授業への取り組みの姿勢・ノート状況。						
②提出物…課題等の提出状況						
③定期考査…各学期に実施する考査の成績。また、課題テストの成績も含む。						
○履修上の注意及びアドバイス						
①授業者や発表者の説明などは最後まできちんと聴くこと。						
②ノートは毎時間確実に指示通り取ること。						
③プリント類はすべてノートに貼ること。(はさみとのは必需品)						

授業科目名	日本史 B		単位数	4 単位	学年	2
使用教科書	新選日本史 B (東京書籍)		副教材等	図説日本史 (啓隆社) 新選日本史 B ワークノート (東京書籍)		
○学習の到達目標 (2・3年継続履修)						
1、わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って、総合的に考察する。						
2、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めする。						
3、歴史的な思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	第1章 古代国家の形成と古代文化 1 原始社会の生活と文化 2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取	教科書 資料集 ワークノート	・自然環境に着目し、原始社会の人々の生活を考察し、理解する。 ・中国大陸や朝鮮半島の文化の影響を受けた日本の原始社会の変化を考察する。 ・古墳時代から律令国家の成立までの過程について東アジア世界との関係に着目し、理解を深める。 ・平安時代に朝廷の政治体制の変化が地方政治に与えた影響について、考察する。		
	5	1 学期中間考査				
	6	3 律令国家の形成と古代文化 4 貴族文化と国風文化の発達				
	7	1 学期期末考査				
2 学期	9	第2章 武家社会の形成と中世文化 1 武家社会の形成と文化 2 下剋上の社会と庶民文化	教科書 資料集 ワークノート	・武家社会の成立によって新しく生まれた鎌倉時代の経済・文化について理解する。 ・武家と公家の文化融合や庶民文化の誕生などを通して、室町時代の特徴を考察する。 ・織豊政権から幕藩体制の成立までの過程を大航海時代などの世界史的な背景にも着目して、理解を深める。 ・幕藩体制のしくみや鎖国政策について、政治的・社会的な背景との関連や、社会や文化に及ぼした影響や歴史的意義を理解する。 ・経済と産業の発達を、都市・交通・商品流通などの発達と関連して理解する。		
	10	2 学期中間考査				
	11	第3章 近代社会と庶民文化の展開 1 ヨーロッパ文化と国内統一 2 幕藩体制の成立 3 近世社会の発達と町人文化				
	12	2 学期期末考査				
3 学期	1	4 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達	教科書 資料集 ワークノート	・社会構造の変化による幕藩体制の動揺の過程を把握する。 ・開国から明治維新までの過程を把握させ、日本が国際社会に組み込まれる点を、当時の社会や経済と関連させて理解を深める。		
	2	学年末考査				
	3	第4章 近代国家の形成と国民文化 1 開国から明治維新へ				
○評価方法						
・考査ごとに、考査の素点 (7割)、平常点 (3割) で総合的に評価する。						
・平常点は、授業に対する態度・関心、提出物 (板書ノート、訂正ノート、課題プリントなど) などを総合して評価する。						
・1学期・2学期の成績は、各学期の中間考査・期末考査を相加平均する。						
・学年総合成績は、各学期の相加平均とする。						
○履修上の注意及びアドバイス						
・単なる語句の暗記中心の学習ではなく、各時代の政治・経済・文化面を深く知り、他の時代と関連づけていくことで、時代の流れを理解・把握していく学習が大切です。						
・日本史の中で郷土である対馬がどのような形で出てくるのか、考察する事も大切です。						

授業科目名	現代社会		単位数	2 単位	学年	2
使用教科書	現代社会（東京書籍）		副教材等	最新図説現社（浜島書店）		
○学習の到達目標 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断するとともに、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学 期	4	第3章 日本国憲法と民主政治 1 民主政治とは	教科書 資料集 授業プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治の原理や仕組みを理解し、世界の主な政治体制を把握する。</li> <li>・日本国憲法の基本原理と基本的人権について学び、人権に対する正しい知識を身につける。</li> <li>・国会・内閣・裁判所の働きと役割について学び、国政に対する基本的な知識を身につけ、国政の問題点について考察する。</li> <li>・選挙や地方自治について学び、政治に参加する重要性を理解する。</li> </ul>		
	5	2 日本国憲法と基本的人権 1 学期中間考査				
	6	3 国会・内閣・裁判所 4 政治参加と民主政治				
	7	1 学期期末考査				
2 学 期	9	第2章 現代の経済と国民福祉 1 経済の仕組み	教科書 資料集 授業プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済や国民所得、経済成長について学び、国の豊かさとは何か考察する。</li> <li>・財政と金融の役割について理解し、その問題点について考える。</li> <li>・戦後の日本経済の歩みを学び、現代経済の課題について考える。</li> <li>・消費者問題、環境問題、労働問題、社会保障の問題について理解し、自らの問題として考える。</li> </ul>		
	10	2 政府の経済的役割				
	11	2 学期中間考査 3 変化する日本経済				
	12	4 豊かな生活の実現 2 学期期末考査				
3 学 期	1	第4章 国際社会と人類の課題 1 国境をこえる経済	教科書 資料集 授業プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済のしくみと、経済のグローバル化について理解する。</li> <li>・国際経済の変容と、地域的経済統合の進展について理解する。</li> <li>・国際平和を維持する仕組みについて理解する。</li> <li>・軍縮、環境、人口、食料、民族問題などについて理解し、地球規模での解決策のあり方について考察する。</li> </ul>		
	2	2 ボーダレス化のなかの地域 3 国際社会の成立と戦後の動き				
	3	4 国際社会の課題 学年末考査				
○評価方法 ・考査ごとに、考査の素点（7割）、平常点（3割）で総合的に評価する。 ※ 平常点は、授業態度・提出物（板書ノート・訂正ノート・課題プリントなど）などを総合して評価する。 ・1学期・2学期の成績は、各学期の中間考査と期末考査の相加平均とする。 ・学年総合成績は、各学期の相加平均とする。						
○履修上の注意及びアドバイス ・新聞やテレビのニュースなどに関心を持ち、今世の中でどのようなことが起こっているか知ろうとする姿勢を身につけよう。総合学習のNIEともかわりの深い教科です。 ・政治参加や、医療・福祉などを自分自身のこととして捉え、その仕組みを学ぶとともに、問題点について、意見や考えをまとめよう。						

授業科目名	数学Ⅱ・B		単位数	5単位	学年	2
使用教科書	高校数学Ⅱ・高校数学B（実教出版）		副教材等	新課程3ROUND 数学Ⅱ+B（数研出版）		
○学習の到達目標 1年次に履修した「数学Ⅰ」をもとに、さらに知識の幅を広げる。また、問題演習の時間を通して積極的に取り組む姿勢を身につけ、課題等で家庭学習をしっかりと行えるようにする。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	1学期中間考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	<1章 複素数と方程式> ・整式の乗法・除法を計算できる。 ・複素数の四則演算ができる。 ・高次方程式を解くことができる。		
	5			<2章 図形と方程式> ・直線の方程式を求めることができ、2直線の平行・垂直な関係を理解することができる。 ・不等式で表す領域を求めることができる。		
	6	1学期期末考査				
2 学期	7	2学期中間考査	教科書（数学Ⅱ） 副教材	<3章 いろいろな関数> ・三角関数、指数関数、対数関数について学び、それぞれの特徴を理解する。		
	9			<4章 微分と積分> ・関数を微分することができる。 ・3次関数のグラフをかきことができる。 ・不定積分を求めることができる。 ・定積分を利用して、図形の面積を求めることができる。		
	10	2学期期末考査	教科書（数学B） 副教材	<1章 数列> ・等差数列・等比数列の意味、一般項、和について理解することができる。		
	11			・和を表す記号 $\Sigma$ や自然数の話、平方数の和の式を導く過程を理解できる。		
12	3 学期	学年末考査	教科書（数学B） 副教材	<2章 ベクトル> ・基本的なベクトルの計算や内積を求めることができる。 ・位置ベクトルや線分を分ける点の位置ベクトルについて理解できる。		
1						
2						
3	○評価方法 定期考査（年間5回実施）の成績、確認テストの成績、提出物、授業への取り組みなどを総合的に判断して評価します。					
○履修上の注意及びアドバイス 学習内容が1年次より更に難しくなるので、今まで以上に積極的に授業に参加してください。また、さまざまな定理や公式がでてくるので、それらをマスターするためにも、日々の演習を怠らないでください。授業担当者から出される課題を確実にこなしてください。						

授業科目名	化学基礎	単位数	2単位	学年	2
使用教科書	高校化学基礎（実教出版）	副教材等	高校化学基礎カラーノート （実教出版）		

○学習の到達目標

- ・化学の役割や物質の扱い方を理解するとともに、物質に対する関心を高め、物質を探求する方法を身につける。また、物質の構成粒子についての基本的な概念を理解し、物質についての微視的な見方ができるようにする。
- ・物質の変化に関する観察や実験などを通して、基本的な概念や法則を理解し、化学反応をエネルギーの出入りと関連づけて考察できるようにする。

学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標
1 学期	4	第1章物質の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・カラーノート</li> <li>・練習プリント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体</li> <li>・化合物及び混合物について理解する。</li> <li>・実験における基本操作と、物質を探求する方法を身につける。</li> <li>・粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。</li> <li>・原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。</li> <li>・化学結合と物質の性質との関係を理解し、物質について微視的な見方ができるようにする。</li> </ul>
	5	1学期中間考査		
	6	第2章物質と化学結合		
	7	1学期期末考査		
2 学期	9	第2章物質と化学結合		<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。</li> <li>・金属結合及び金属の性質を理解する。</li> <li>・共有結合を電子配置と関連付けて理解する。また、分子からなる物質の性質を理解する。</li> <li>・物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。</li> <li>・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表わすことを理解する。</li> </ul>
	10	2学期中間考査		
	11	第3章物質の変化		
	12	2学期期末考査		
3 学期	1	第3章物質の変化		<ul style="list-style-type: none"> <li>・酸と塩基の性質を理解する。また、酸・塩基の強弱と電離度の大小についても理解する。</li> <li>・水素イオン濃度とpHの関係を理解する。</li> <li>・中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。</li> <li>・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。</li> <li>・酸化還元反応と日常生活とのかかわりについて理解する。</li> </ul>
	2	学年末考査		
	3			

○評価方法

各考査ごとに、考査の得点と日常の評価点（授業態度・ノート点検・確認テスト・実験及び観察のレポート等）を総合して評価を行う。1・2学期の成績は各学期の中間評価と期末評価の相加平均とし、学年総合成績は各学期成績の相加平均とする。

○履修上の注意及びアドバイス

身の回りの品々や私たちの体など「物質」と呼ばれる物についての知識を身につけていくための学問が「化学」です。小中学校までの理科の学習を通して、苦手意識を持っている人も少なくはないと思いますが、頭の中をリセットして、ものすごく「身近な学問」なんだということを頭に置いた上で学習してみましょう。まずは、基礎基本をしっかり身につけて演習や実験を通して理解を深めていくことが大切です。

授業科目名	生物基礎		単位数	2単位	学年	2
使用教科書	高校 生物基礎（実教）		副教材等	スクエア最新図説生物neo ベストフィット生物基礎		
○学習の到達目標 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察実験などを行い、生物学的に探求する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	第1章 生物の共通性と多 様性・細胞とエネル ギー	教科書 図説 研究ノート 実験プリント 授業プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の基本的な分類方法を確認する。</li> <li>・生物は多様でありながら共通性をもっていることを理解する。</li> <li>・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。</li> <li>・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解する。</li> <li>・DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解する。</li> <li>・細胞分裂のしくみや特徴を知る。</li> <li>・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。</li> </ul>		
	5	1学期中間考査				
	6	第2章 遺伝情報とDNA ・遺伝情報の分配				
	7	1学期期末考査 遺伝情報とタンパ ク質の合成				
2 学期	9	第3章 体内環境・体内環境 の維持のしくみ	教科書 図説 研究ノート 実験プリント 授業プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体内環境が保たれていることを理解する。</li> <li>・体内環境の維持に自律神経とホルモンがかかわっていることを理解する。</li> <li>・免疫とそれにかかわる細胞の働きについて理解する。</li> <li>・陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。</li> <li>・気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解する。</li> </ul>		
	10	2学期中間考査 免疫				
	11	第4章 植生と遷移・気候と				
	12	バイオーム 2学期期末考査				
3 学期	1	生態系と物質循環 ・生態系のバランス と保全	教科書 図説 研究ノート 実験プリント 授業プリント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解する。</li> <li>・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識する。</li> </ul>		
	2	学年末考査				
	3					
○評価方法 定期考査：平常点＝7（6）：3（4）の割合で評価を行う。平常点は授業態度、授業中の小テスト、課題提出、実験レポートの提出などとする。1学期・2学期の成績は各学期の中間評価と期末評価の相加平均とし、学年総合成績は各学期の成績の相加平均とする。						
○履修上の注意及びアドバイス 専門用語・図などの生物の基礎知識を学習するだけでなく、自然科学全体に対する理解を深めて、身近な生活との関連などにも関心を高めていくことが必要である。そして、生物学の究極の目標である、人が生きるしくみや、環境との関連などに対して理解を深める必要がある。						

授業科目名	体育		単位数	2 単位	学年	2
使用教科書	なし		副教材等	なし		
○学習の到達目標 各種の運動の合理的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、構成・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	・体づくり運動 ・球技選択	・デジタイマー ・得点板・黒板 ・ラケット ・バッド・ボール ・グローブ ・ホイッスル	・集団としての行動を秩序正しく、能率的に行う。 ・互いに協力して自己責任を果たす。 ・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。  ・体育大会の自主的な実践を通して、公正・協力・責任感の精神を養う。また、学級・学年の融和をはかり、豊玉高校生として、尚一層の意識の向上を目指す。		
	5					
	6					
	7	・体づくり運動				
2 学期	9	・体育大会 ・球技選択	・デジタイマー ・ラケット ・グローブ ・バッド・ボール ・CDラジカセ ・得点板・黒板 ・デジタイマー	・機敏、的確に元気よく行動する。 ・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。  ・長距離走の特性である、忍耐力と基礎的運動能力を高め、健全明朗な精神の育成を目指す。		
	10					
	11	・マラソン大会				
	12	・球技選択				
3 学期	1	・体づくり運動 ・球技選択	・デジタイマー ・得点板・黒板 ・ラケット ・バッド・ボール ・ホイッスル	・集団の約束やきまりを守り行動する。  ・様々な種目をするにより、自主性・取り組み・技能の習熟を図り、スポーツを楽しむ態度を育て、生涯を通じての運動実践の態度を養わせる。		
	2					
	3					
○評価方法 評価規・基準を参考のこと						
○履修上の注意及びアドバイス 日々の授業に参加することが一番重要です。見学する場合も必ず体育服で参加し後片づけなど協力できることはすること。また、見学用紙に授業内容及び感想を記入して提出すること。						



授業科目名	保健		単位数	1 単位	学年	2
使用教科書	現代保健体育（大修館書店）		副教材等	なし		
○学習の到達目標 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通して自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康	教科書	・思春期の行動面、心理面の特徴について理解する。 ・性意識の男女差や、性行動の選択について理解する。 ・健康な結婚生活を営むための留意点を、心身の発達の観点から説明できるようになる。		
	5	・妊娠、出産と健康		・受精、妊娠、出産の過程が説明できるようになる。		
	6	・家族計画と人口妊娠中絶 1 学期期末考査		・避妊法を選択する際の留意点や人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について理解する。		
	7	・加齢と健康		・加齢に伴う心身の変化について、形態・機能の両面から理解する。		
2 学期	9	・高齢者のための社会的取り組み ・保健制度とその活用 ・医療制度と医療費 ・医療機関とその活用 ・医薬品と健康	教科書	・高齢者の生活と健康に関する現状と、それをふまえた健康課題について理解する。 ・保健行政の役割としくみについて説明できるようになる。 ・わが国における医療保険のしくみを説明できるようになる。 ・医薬品の正しい使用方法について理解する。		
	10	・さまざまな保健活動や対策 ・大気汚染と健康		・医療機関の選び方について理解する。		
	11	・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 2 学期期末考査		・大気汚染のおこり方、健康への影響を原因物質の例をあげ説明できるようになる。 ・水質汚濁、土壌汚染が互いに関連して健康に影響を及ぼすことを汚染物質をあげて説明できるようになる。 ・環境汚染の防止、改善への対策をあげて、説明できるようにする。		
	12	・環境衛生活動のしくみと働き		・ゴミ、し尿や上下水道の整備について、問題点と対策を具体的にあげることができる。		
3 学期	1	・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち ・働くことと健康	教科書	・食品の衛生管理のために行政及び製造、生産者が行っている対策例をあげることができるようにする。 ・食品の安全性を確保するために、私たちができる対策を例をあげることができるようになる。		
	2	・労働災害と健康 学年末考査		・仕事の仕方や職場環境の変化に伴い、働く人の健康問題がどのように変わってきたかを説明できるようになる。 ・職場における健康管理の必要性について説明し、健康管理の活動例をあげるようことができるようになる。		
	3	・健康的な職業生活		・職場の健康増進対策や日常生活での健康増進について説明できるようになる。		
○評価方法 評価規・基準を参考のこと						
○履修上の注意及びアドバイス ・自ら健康で安全な生活を実践するために、意欲的に学習に取り組もう！ ・定期考査は教科書・学習ノートから主に出題します。特に学習ノートの問題については、一通り解いておこう。						

授業科目名	コミュニケーション英語Ⅱ		単位数	3単位	学年	2
使用教科書	ENGLISH NOW English CommunicationⅡ（開隆堂）		副教材等	コーパス3000		
○学習の到達目標						
1. 英語を聞き目的に応じた読み方をするることにより、相手の意見や理由を理解する力をつける。						
2. 基礎的な英語を使って、話したりまとまりのある文章を書いたりする力をつける。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	Lesson 1	ENGLISH NOW English Comm unicationⅡ コーパス3000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツや音楽など、身の回りのことについて意見を交換する。また、学校生活のことについても意見交換する。</li> <li>・漢字を通して日本文化について考える。漢字の表す意味を英語で説明する。</li> <li>・英語のパンフレットを用い、旅行先で自分のすることについて発表する。</li> </ul>		
	5	1学期中間考査				
	6	Lesson 2				
	7	1学期期末考査 Let's communi- -cate				
2 学期	9	Lesson 3	ENGLISH NOW English Comm unicationⅡ コーパス3000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬に本の読み聞かせをするアメリカの図書館の取り組みについて知る。関係代名詞を用いて、違いを詳しく説明する。</li> <li>・外国人旅行者が日本に来て驚いたことや感心したことは何かを調べ、発表する。</li> </ul>		
	10	2学期中間考査				
	11	Lesson 4				
	12	2学期期末考査 Lesson 5				
3 学期	1	Lesson 5	ENGLISH NOW English Comm unicationⅡ コーパス3000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話す相手との心地よい距離について読み、考えや気持ちを伝える表現を学ぶ。</li> <li>・前置詞を用いて、名詞を詳しく説明する。</li> </ul>		
	2	学年末考査 英語のしくみ				
	3	②				
○評価方法						
定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）・小テストなどを加味して評価する。「スピーチ原稿」または「英作文」をレッスンごとに提出する。						
○履修上の注意及びアドバイス						
教科書については、自分のわからない単語を辞書で調べ、文章の意味を把握した上で授業に臨むことを前提として授業を行いますので、しっかりと予習しておくことが必要です。また、授業で行われる単語の小テストなどについても家庭での学習を十分しておく必要があります。						
週末には課題を出すこともありますので、計画的に家庭学習をする習慣を身につけておいてください。						

授業科目名	英語表現 I		単位数	2 単位	学年	2
使用教科書	SELECT English Expression		副教材等	高校総合英語ハーベスト		
○学習の到達目標 英語の文構造を理解し、様々な出来事や自分の意見を英文で表現する能力を養う。						
学期	月	単元・考査	教材	授業内容及び目標		
1 学期	4	Lesson1	SELECT English Expression  高校総合英語 ハーベスト	Lesson1	「自分の趣味や興味があること」について書いたり話したりする。 現在形：be動詞 / 一般動詞	
	5	1 学期中間考査		Lesson2	「先週末したこと」について書いたり話したりする。 過去形：be動詞 / 一般動詞	
	6	Lesson2				
	7	1 学期期末考査				
2 学期	9	Lesson3	SELECT English Expression  高校総合英語 ハーベスト	Lesson3	「昨夜していたこと」について書いたり話したりする。 進行形：現在進行形 / 過去進行形	
	10	Lesson4		Lesson4	「長期休みの予定」について書いたり話したりする。 未来表現：will / be going to	
	11	2 学期中間考査		Lesson5	「今までの経験、及びその回数」について書いたり話したりする。 現在完了①：継続 / 経験	
	12	Lesson6		Lesson6	「日本の文化」について紹介する文を書いたり話したりする。 現在完了②：完了 / 現在完了進行形	
	12	2 学期期末考査				
3 学期	1	Lesson7	SELECT English Expression  高校総合英語 ハーベスト	Lesson7	「今週末の予定」について書いたり話したりする。 助動詞①：can / may	
	2	Lesson8		Lesson8	「誘いを断り、理由を述べる」文を書いたり話したりする。 助動詞②：must / have to / should	
	3	Lesson9		Lesson9	「自分の夢やなりたい職業」について書いたり話したりする。 不定詞：副詞的用法 / 名詞的用法	
○評価方法 定期考査の結果に加えて、小テスト・提出物・スピーチテストなどを点数化したものにより総合的に評価します。						
○履修上の注意及びアドバイス まずは文法を理解することが大切です。また重要な構文・単語を暗記すればするほど、オリジナルの英文を書く力がつきます。家庭での予習復習をしっかりと行いましょう。						